（10・25日毎月２回発行　　昭和53年６月25日　第三種郵便物認可）

自治体 あいちの仲間

2007.8.10
8.25
No.949

発行責任者　梅野敏基　　定価　10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

自治労連
愛知県本部
第99回定期大会
特集号

発行所　自治労連愛知県本部　名古屋市北区柳原三丁目7番8号
ＵＲＬ　http://www.jaichi.jp　　TEL〈052〉916−2251
Eメール　info@jaichi.jp　　FAX〈052〉916−2308

「悪政を変えたい」と願う国民・労働者のたたかい
元気な自治労連を大きくしよう

自治労連愛知県本部シフォーラムで第99回員や傍聴・中央委員なした。最初に羽根委員いさつ。来賓には自治愛労連・博松佐一事務ひろ子元参議院議員がは17人が発言し、提案支持・補強するもので議案と大会宣言が可決されました。

臨時も正規同様、均等待遇を求めて

渡辺代議員
（一宮市労組）

一宮市尾西清掃事業所で臨時職員として働いている。旧尾西市が合併で一宮市になった。正規と同じ仕事をしながら、日給月給で働き、期末手当や退職金もない状態。10年以上働く者もいるが、一年ごとの契約で不安な状況。合併前から処遇がどうなるのか質問してきたが、清掃事業所の所長は「みなさんの仕事はわかりません」。人事課からは「常勤的非常勤で、正規になれるとは限りません」。と冷たい対応。愛知県本部のホームページにたどりつき、「ここしかない」と相談しさっそく組合を立ち上げた。均等待遇を求める私たちに、「正規とは身分的に違うから待遇格差は仕方がない」とし、3度目の団体交渉を拒否したまま。臨時職員だが、正規職員と同じように市民のために頑張ってきた。8月31日一宮市新柳公園で「生活と雇用を守る総決起集会」を行う。ご支援をお願いしたい。

労働組合の役割実感 いい給食をつくりたい

礒脇代議員
（自治体一般労組）

春日井市の外郭団体に働く。去年の11月に当局から一方的に就業時間の変更が提案された。なんとかしたいと春日井市職労に相談し、37人で2月に組合を結成。「組合結成通知書」「要求書にもとづく団体交渉」を通して、「一方的な労働条件の変更はしない」と回答がされ、事実上凍結させた。労働組合の力を本当に実感。今年4月に新規採用10人を組合に迎えた。今一番の問題は、市の派遣職員と私たちの初任給の差が最大36号の開きがあり、要求書を提出し団体交渉にのぞんだ。当局は「給与の差に合理性がない。検討していく課題と認識している」と表明。組合の結成がなければ今の状況はありえない。

組合を結成して本当によかった。賃金・労働条件の学習もし、いい給食を作りたい。

住民に喜ばれる仕事を追求して

伊藤代議員
（豊橋市職労）

県現業評議会のとりくみ。人件費を抑える攻撃がすすみ、賃下げを許さないたたかいと憲法を守り、くらしを守るたたかいをすすめてきた。昨年の10月13日統一行動には、12単組・2916人が参加。3月10日リストラ反対学習交流集会を開き、100人超える参加で成功させた。退職者の欠員不補充に反対し、名古屋・豊橋などでは採用を勝ち取ってきた。本部の協力が重要となっている。自分たちの仕事を見直し、住民に喜ばれる仕事を続けていこうと決意を固めている。

たたかいでこそ職場・仕事を守れる

宮脇代議員
（名水労）

6月1日に全国公営企業評議会が名古屋で開催。全国の水道職場では、委託化がすすみ人が足りず新規採用もされない。民営化に拍車をかける悪循環が続いている。名古屋は直営で若い私たちも仕事をすることができる。仕事をきちんとして意見も言えるようにしていきたい。

参院選で「構造改革」路線ノーの審判
政治を変えたいと願う国民と共同しよう

羽根克明
県本部執行委員長

参議院選挙で国民は自公内閣の弱肉強食の「構造改革」路線ノーの厳しい審判を下し、政治の変化を民主党に期待したといえる。民主党は、憲法は改憲のスタンス、消費税も引き上げて基礎年金に組み入れる、テロ特別措置法反対などを掲げており、今後の政局運営は国民の信頼にこたえ、マニフェストの立場でがんばることにある。

07人勧が9年ぶりにプラスの勧告となったが、その内容は若年層の上積みや一時金の0・05月引き上げで、地方との格差を広げる不当な勧告。愛知は、全国と違い地域手当が支給されており、引き下げ提案をされる可能性もある。愛知県人事委員会勧告が注目される。

最低賃金引き上げのたたかいでは、最賃審議会の目安小委員会は2007年度の地域別最賃を愛知などAランク地域は19円引き上げを示した。昨年6円引き上げたが、生活保護基準を下回る最賃を改善せよとキャラバンで時給の引き上げを求めてきた。安倍内閣は国民生活を貧困と格差の拡大に追い込み、介護や医療、福祉をもうけの対象にすればどうなるかはコムスンの事例でも明らかになっている。くらしと地方自治をまもるたたかいをいっそう強めたい。国民投票法の成立で憲法改正にむけ3年後に発議されることになっており、いつやられてもおかしくない。全労連の500万署名も開始され、全力でとりくむことにしたい。

昨年1100人の組織拡大の到達を迎え全国的に奮闘。しかし、純増になっていない。3万人県本部めざしてがんばりたい。

「なくそう格差と貧困、語ろう憲法と仕事」

悪政から住民を守る自治体労働者めざそう

憲法九条を守る草の根のたたかい広げよう

憲法9条を守り、草の根から運動広げよう

村田代議員（名古屋市職労）

長崎の原水禁世界大会に参加。民主主義と平和について発言したい。去年広島の世界大会に初めて参加したが、被爆地2キロで原爆症の認定がされないと訴訟が行われている。

緑区でセイブイラクチルドレンの学習会を小野真理子さん講師におこなった。イラク戦争の問題は、アメリカが救世主として招きいれてしまった。民主主義は自分たちが作らなければだめだということが指摘された。長崎平和宣言について、「人類は核兵器と共存しない」。この立場を鮮明にしてまとめられ、国に対して核兵器廃絶を迫る世論をつくることを強調している。

戦争する国づくりには、兵隊が必要。貧乏な人たちを兵士にしていく。アメリカの貧困を作ろうという流れが戦争につながっていることが分科会でも指摘された。参議院選挙結果をみて、地方の格差が広がっていることに国民の投票動向は自民党と対決する姿勢の民主党に託したもの。本物にさせるのはこれからの運動にある。職場9条の会が地域で広がっているが、憲法9条守る声を幅広くしていこう。

保育合研に愛知から1600人仲間広がる

塚本代議員（名古屋市職労）

第39回全国保育合研3日間で9039人の参加で成功させた。名古屋で1100人県下500人の参加者1600人近くとなった。

地元で合研を準備し、成功させるために愛知のすべての自治体から後援をとりつけよう。すべての未組織や自治労にも職場訪問をしよう。愛知の果たしてきた保育運動の役割を、学び若い人たちにバトンタッチするものにしようとすすめてきた。

若い人たちがたくさん元気にがんばってきた。未組織や自治労の仲間とのつながりや父母とつながりを広げながら合研を成功させ、この力を今秋の運動につなげていきたい。これまで署名をやっても効果はあるのか？など疑問が出されたが、衆参両院で請願が採択され、国や県、自治体に向けて9月1日の学習交流集会などを契機に運動していきたい。

来年1月の合併を前に組織化めざす

瀧川代議員（豊川市職労）

昨年2月一宮町と豊川市が合併。組合員対象90人のうち17〜8人の加入にとどまっている。来年1月、音羽町・御津町との合併を予定し、朝ビラを7月から開始し、学習会の設定などをしている。庁内ビラなども配布しているが、組合の必要性を感じて、旧一宮町からの人が加入したいと組合事務所を訪問。職場の危機感や組合の必要性を感じてのこと。来年の合併に向け、東三河で定例会議を開き、合併問題をみんなでとりくんでいる。加入の前に「労働組合を考える会」として、柔らかい表現で呼びかけて説明会を進めていこうと計画している。若手執行委員からは、権利や団結を言う前にレクや福利厚生などから組合にはいると「こんなにお得」など打ち出してやってみてはなどの声もある。

元気な女性部活動で組合員を拡大

梅野代議員（瀬戸市職労）

県本部女性部として、教育基本法の改悪反対のとりくみを学習や栄宣伝行動など様々なかたちで行ってきた。今後は悪法が実施されないように監視していきたい。憲法9条を守ろうと名古屋市職労や愛労連女性協とも共同しながら栄宣伝を行ってきた。全労連から5年に1度の「健康と出産に関するアンケート」にとりくんだ。育児休業や育児時間などについて活動資料としていきたい。当局は次世代行動計画を策定しているが、作成したにすぎない。女性部としてより実効性のあるものに働きかけたい。瀬戸市職労女性部は、保育士は100％加入。本庁などの加入が進んでいないため、保育士2〜3年目を中心に交流会をもってきた。権利クイズ、ペープサートなどでこんな権利があったのと知らされる交流を通して新たな組合加入者を迎えている。昼休憩や人間ドックなど組合が見えるとりくみを広げている。

県本部2007年度役員

役職名	氏名	出身単組
執行委員長	梅野　敏基	瀬戸市職労
副執行委員長	矢野　正彦	長久手町職労
〃	柳　進	直属分会
〃	大橋　宗明	名古屋市職労
〃	長坂　圭造	豊橋市職労
〃	林　達也	犬山市職労
書記長	伊藤　慎次	名古屋市職労
書記次長	村田　和広	豊橋市職労
財政局長	後藤　総	港職労
執行委員	柵木　史紀	西尾市職
〃	永井　和彦	直属分会
〃	平野　正一	直属分会
〃	木村　泰治	名水労
〃	来本　吉司	蒲郡市職
〃	杉浦　彰治	知立市職労
〃	望月　敦	春日井市職労
〃	熊谷　弘	半田市職
〃	佐久間喜代彦	岩倉市職
〃	岩田　広美	清須市職労
〃	栗木　成治	名古屋市職労
〃	島田　秀年	名水労
〃	伊藤百合子	名古屋市職労
〃	酒井　文子	名古屋市職労
会計監査	奥村　敏男	名古屋市職労
〃	今泉　聖一	蒲郡社福労
〃	森田　正樹	武豊町職労
特別執行委員	大黒　作治	名古屋市職労
〃	羽根　克明	名古屋市職労
〃	福田　秀俊	名水労
〃	吉良多喜夫	直属分会
〃	鈴木　常浩	直属分会

財政小委員会報告

坂本委員長（名水労）

財政小委員会は42名中26名が参加した。

正規職員が減って、組合費が少なくなっている。県本部としての予算措置が必要なのでは、また中央とのやりとりはどんなものがあったのか質問。中央も毎年納入人員が減少しているので、今後中央の対応を見極めていきたいと回答。

前年度の決算額で来年度の予算を組むような単年度ごとの予算案を作り出していけないかとの要望。今後の研究課題とさせて頂きたいとの回答。

自治労連基金について継続性があるものなのか、位置づけはどうなっているのか、中央本部へ確認して今後活かしていきたい。

緊縮財政のなかで、収入を増やす努力をみんなで頑張っていこう。

まとめとして、わかりやすい説明と出された意見を反映させるべく組合費引き下げの研究も含め努力させて頂きたいとの回答。

小委員会として議案として承認された。

来賓ごあいさつ

駒場忠親（自治労連中央執行委員長）

参院選後の劇的な変化の情勢のもとでたたかいを展望する自治労連定期大会。⑴憲法9条を守る草の根の運動を広げる、⑵こんな日本と地域を作りたい、住民のいのちと暮らし守る砦に、⑶運動を担う組織建設をすすめる。中央執行委員長を送り出す組織として奮闘していただきたい。

榑松佐一（愛労連事務局長）

組織拡大の3カ年計画をつくり、純増に挑戦する。昨年、17組合が結成された。6単産が純増に転じている。

今から地域にでて、憲法改正をさせないとりくみをすすめよう。こうした成果をどんどん、地域労連に結集していくことが大切。労働組合の新しい役員、青年役員など育成していきたい。

八田ひろ子（元参議院議員）

自民・公明の古い枠組みを変えようと国民の審判が下った。原水爆禁止長崎大会に参加したが、感動をもらった大会となった。憲法やくらし、労働法制の改悪で人間が人間として生きていけない政治は許せない。

自治体労働者の困難さ、政治の大本を変えるなど今後もいっそう奮闘を期待したい。

過労死認定求めて

倉田代議員（自治体一般）

刈谷市に勤務する夫の過労死について3月12日口頭意見陳述を行った。1万8千168筆の過労死認定求める署名を提出。多くの自治労連単組のみなさんに協力いただいた。この場をお借りしてお礼申し上げたい。

夫は今から8年前自治体リストラと異常な人事のために死亡した。公務外の認定を受け、基金支部審査会に意見書を提出。刈谷市は、倉田に協力するな、会うな、話すなと箝口令が敷かれてきた。ここで発言できるのも自治労連のおかげ、主人が亡くなった当初は毎日生きる希望すらみえていなかった。支援をいただいた自治労連のみなさんに励まされてきた。最後までがんばりたい。

まとめの答弁

17人の発言を確信にして　賃金改善、九条守るたたかいに全力

13単組・17人の発言。現業職場に厳しい委託化攻撃があるが、現業にかぎったものではなく、全体のたたかいとして県本部でとりくみたい。一宮市労組、春日井学校給食会分会、なごや介護労組など臨時・非正規の労働者の賃金・労働条件改善に引き続きとりくみたい。8月31日の一宮市労組の尾西清掃臨時職員分会の決起集会に応援を要請したい。

平和では、春日井や名古屋、女性部などから、9条の会のとりくみが報告された。毎月の女性部の宣伝行動には頭が下がる。地域・職場でのとりくみを交流しながら広げていきたい。小牧基地、名古屋港、渥美大山ヘリポートなど軍事基地強化に反対するとりくみにも力を注ぎたい。名古屋港100周年のとりくみも位置づけたい。

賃金では、名古屋・蒲郡などから人事院勧告についてふれられた。勧告の内容は不当なものである。詳しい分析は賃金担当者会議までに行うが、地域手当引き下げは不当なものであり、削減を跳ね返していきたい。

自治体一般の倉田さんの発言にもあるが、不幸な過労死を出さないためにも県本部としても位置づけ支援する会への協力を呼びかけたい。

村田書記次長

次世代育成の報告が、西尾の執行部の役員からされた。青年組合員に対して、こちらに壁がある。勇気をもって声をかけ、悩みをもっている若い職員に組合活動に参加をよびかけよう。県本部青年部は、9月30日学習交流集会を計画している。多くの単組から参加をよびかけてほしい。港職労から、知事選挙のとりくみが発言された。労働組合として首長選挙を取り組めていない実態は議論が必要。この秋、賃金改善や9条守るたたかいを各単組とともに県本部もがんばりたい。

高校生平和ゼミナールの訴え

長崎大会で平和を守る誓いみんなで確認

会場カンパ　63、926円

核廃絶に取り組む姿に学び、みんなで世界を平和にする勇気をもらえた。世界大会で、未来を平和にするのは私たち若者だと実感できた。ツアー報告集も作成したい。

給食調理場の民間委託化反対の運動を市民とともに

福田代議員（豊橋市職労）

経営改革プランで、6年間で212人の削減を発表し、北部学校給食調理場の立て替えを機にPFI方式導入で民間委託する提案がされた。給食闘争委員会を本部と共同して設置した。委託反対ビラを8万枚配布し、給食懇談会を4回開いて市民と交流してきた。アンケート調査から保護者の86％が給食の委託化に何らかの不安を抱いている。今年はさらに闘争を大きくしていきたい。土木事務所でも6年間で20人の人員を削減することを発表した。人員問題はあくまで労使合意が原則であることを当局に認めさせ運動している。住民が安心して暮らせる町作りに、現業職場にしていきために奮闘したい。

公務公共サービスの拡充と住民要求前進

鈴木代議員（名古屋市職労）

07人事院勧告。久しぶりのプラス勧告となった。しかし、勧告後の中日新聞に、安倍首相の「勧告は凍結すべきと」のコメントが掲載された。公務員賃金は特権階級であり、国民の批判が大きいことを理由にしている。天下りや収賄などの事件により、公務員への厳しい国民世論の背景には、不安定雇用をもたらす非正規労働者の増大や、住民税増税や社会保障費の負担増など国民の生活が大変になっていることが要因。自治労連の提起している「見直そう、問い直そう仕事」の運動をさらに発展させながら、公務公共サービスを拡充させることで、公務員が頑張っている姿を国民に伝えて共同の運動を作れるように頑張っていきたい。

地域手当のたたかい県産別として役割発揮を

中根代議員（蒲郡市職）

地域手当問題については、この2年間、厳しいたたかいが続いた。総額人件費削減のもとで、蒲郡も財政問題などを理由に人件費について削減提案がされてきた。給与制度は公務能率に大きく影響するものである。県の人事委員会勧告で地域手当10％が示されているが、蒲郡では今年6％を維持し持ちこたえてきた。県本部が自治体産別として、自治体労働者の賃金制度として全国に誇れる地域手当問題で奮闘してほしい。市民病院の看護師は、残業問題などをとりあげて運動してきた。組合員を中心にして要求をまとめる運動をつくってきた。仮眠室問題でも当事者が直接交渉で発言してきた。改善につながることができた。組合員の要求に依拠してがんばることが必要。

職場・地域から攻めのたたかいを　この秋は大きくしていこう

臨時職員の待遇改善、次世代育成の執行体制確立を

築瀬代議員（西尾市職）

フルタイム臨時職員を月給制にする確定の回答から、日額賃金の22日分給与月額にする。二職種「保育園クラス担任障害児持ち対応と病棟用務員」は23日分を給与月額とすることで、概ね妥結の方向。フルタイム臨時職員は採用から5日間の年休が来年４月１日から取得できることになる。

「自分の隣の採用2年目の職員が執行委員やってもいいと言っている」と若い執行委員から報告があり、20代が執行部に増えることに。管理職手当の定額制では、課長補佐の手当を大幅に引き上げたいと提案があった。しかし組合は、課長補佐を管理職にしていることが問題である。議会に出て答弁するわけでないし、課長補佐決裁もないから管理職ではないのではないか厳しく追及し、継続課題になっている。管理職的な役割をもたされる課長補佐の団結権を奪うことであり、管理職でないと思われる役職は改善を求めるように組合から申し入れるなど新たに問題提起したい。

憲法９条を守り、平和を広げよう

望月代議員（春日井市職労）

憲法改悪を許さず平和を守るために地域住民と様々な取り組みを行っている。労働組がなぜ平和運動に取り組むのか、良く組合員や若い職員に言われる。戦争になったとき公務員が権力側の仕事をやらざるを得ない、住民の人権を奪う立場にさせられ、自分たちの発言・権利も奪われていく。自分たちが平和の運動を作っていかなければならない。地域住民とともに11月に平和集会に参加、12月に平和マラソンに参加した。

昨年、春日井９条の会ができた。今年６月２日に池田香代子さんの記念講演会を、地域の皆さんの協力で６００人の参加で成功させた。小牧基地からイラクへ派遣されているが撤退するよう要請したい。小牧基地強化反対運動を続け、平和の運動に組合として今後も頑張っていきたい。

未組織労働者の要求実現で格差と貧困の拡大にストップ

伊藤代議員（名古屋市役所関連）

定数抑制、総人経費抑制により、欠員不補充は７年となっている。さらに嘱託化がすすみ、資源などの収集はリサイクル公社へ委託。車と運転手つきで借り上げが導入されている。市に関連するすべての労働者を視野に公契約運動と再雇用、有期雇用、借り上げ労働者の組織化にむけてとりくんでいる。

市嘱託は３年、有期雇用は５年で雇い止め、借り上げ労働者は低賃金や休暇も取得出来ない状況におかれている。市嘱託、有期雇用労働者の雇用延長を求めて関連労働組合を結成し、昨年９月には有期雇用分会を結成した。

要求実現に向けて、勉強会や職場実態アンケート、職場オルグなど連日奮闘。継続雇用の要求をリサイクル推進公社に提出しているが、前進は難しく厳しい状況であるが組合員が増えている。借り上げ労働者の要求実現に向けて、仕事に関するアンケートを行いその結果をもとに経営者に懇談申し入れを行い労働者から喜ばれている。

市に関連する労働者は、低賃金が余儀なくされている。格差と貧困の是正を柱に未組織の組織化に向けて奮闘しよう。

自治体民主化をめざし平和な名古屋港を

高木代議員（港職労）

知事選挙の結果は惨敗。革新県政の会の石田氏の評価をもっと早くすべきであった。労働組合がなぜ首長選挙をたたかうのか議論が必要ではなかったか。組織について、労働組合の必要性を訴えながら若手を育てていくことが重要。長崎世界大会に代表を送り、核兵器廃絶の昼休みの宣伝行動を８日９日、女性部など中心に20人が参加して87筆の署名を集めた。８月15日にも憲法ティッシュを活用しながら平和宣伝行動を行う予定。11月10日名古屋港開港１００周年、平和問題でもとりあげていきたい。

07年秋のたたかいは攻めの姿勢で奮闘

中川代議員（名古屋市職労）

07年人事院勧告が、９年ぶりにプラス勧告として１３５２円。極めて不当な勧告内容である。半分近くは地域手当として霞ヶ関にすいあげるもので、地方の勧告をいれていけばさらに厳しいものになると予測される。

昨日、愛労連や民間の労働組合と名古屋市人事委員会に申し入れてきた。民間の厳しい賃金労働条件の実態を改善させるためにも、適切な公務の賃金引上げを求める発言が続いた。

北九州市で生活保護による申請拒否により、孤独死が発生した。ケースワーカーは20代、早期の辞退届けを書かせる仕事をしてきたことがわかった。ふじみ野のプール事故や北九州の問題だけではなく名古屋でも起こりうること。住民の安心安全を守ること、政治の前向きな変化は、自民党支持率が10％代に落ち込む。職場・地域から草の根のたたかいを進め、この秋、攻めのたたかいにとりくもう。

優秀賞おめでとうございます！

2007年春闘機関紙コンクール

第１種　学事労（名古屋学事労）
第２種　えがお（なごや介護労組）
第２種　うぇいぶ（豊橋市職労・病院支部）
第３種　パンダ通信（半田市職・臨時・パート分会）

なごや介護労組

名古屋学事労

半田市職・臨時・パート分会

豊橋市職労・病院支部

今年も春闘機関紙コンクールを開催。第１種（政令・都市職の機関紙、ニュース）、第２種（町村職単組、政令・都市職の支部・分会の機関紙、ニュース）、第３種（補助組織、職域部会、専門部などの機関紙、ニュース）とし、応募総数15単組41紙。入賞されたみなさんを定期大会で表彰しました。おめでとうございます。

おたのしみプレゼントつきクイズ

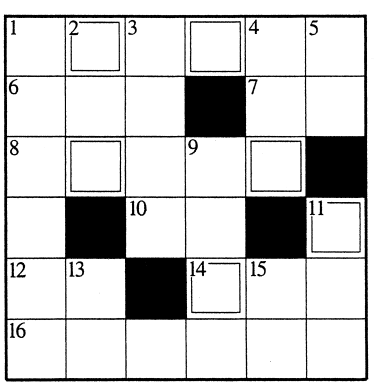
左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場をハガキに書いて送ってください。

カギを解き、二重ワクに入る文字をうまく並べてできる言葉は何？

【タテのキー】①古くからある物語　②散り散りに離れる　③内密。④健全さを失う。政治の――　⑤前夜　⑨役に従事して得られる利得　⑪教育の――均等　⑬〇〇のある声　⑮〇〇晴らし

――話　⑥家庭裁判所の略　⑦テニスや卓球で０　⑧事情や心情を考慮すること　⑩〇〇も得もない　⑫一番暑い季節　⑭ともしび。――親しむ候　⑯カーニバルの和訳

クロスワードパズル◇◆◇



【ヨコのキー】①無茶な難癖。――をふっかける　⑥家庭裁判所の略　⑦テニスや卓球で０　⑧事情や心情を考慮すること　⑩〇〇も得もない　⑫一番暑い季節　⑭ともしび。――親しむ候　⑯カーニバルの和訳

締め切りは**9月30日必着**。ハガキに必ず近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。

〒４６２－０８４５
名古屋市北区柳原３丁目７－８　自治労連愛知県本部教宣部

抽選で10人に図書カード（１０００円分）を贈呈します。

クイズの当選者職場の声

９４６号の答えは「サングラス」でした。31通の応募があり全員が正解でした。以下の方に図書カードを送ります。

作石　貴則（瀬戸市職労）
小幡　和子（西尾市職）
小泉　拓馬（豊橋市職労）
中山　良子（豊橋市職労）
鈴木　佳子（豊川市病組）
近藤　淳子（長久手町職労）
中橋香那子（春日井市職労）
箕浦　磯二（学事労）
八木　啓（名古屋市職労）
岡田　亨（名古屋市職労）

今月号の「ツボの話」は紙面の都合上、お休みといたします。